



山口源 版画ワークショップ「シルクスクリーン印刷」開催 トートバッグに好きな“ぬまづの柄”を刷ってみよう!

要 旨

本市ゆかりの版画家 山口源を顕彰する山口源顕彰事業の一環として、「山口源新人賞」の受賞経験者を講師とし、版画ワークショップを開催します。シルクスクリーンの「刷り」の部分だけを体験する短時間のワークショップで、7種類の“ぬまづの柄”から好きな柄を選んで、トートバッグに刷ることが出来ます。完成した作品はお持ち帰りいただきます。

概 要

1 日 時 令和4年12月10日(土)11:00-16:40(所要時間20分、7回開催)
①11:00-②11:50-③13:20-④14:10-⑤15:00-⑥15:50-⑦16:40-
※受付開始は10:30からです(全ての時間枠を先着順で受け付けます)。

2 場 所 ららぽーと沼津 1F 無印良品(店内)
(沼津市東椎路301-3)

3 参加者 当日受付(1回定員3名、参加費無料)
(小さなお子さんは、付き添いが必要です)

4 講 師 中村花絵(2015山口源新人賞受賞)
女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻修士課程 版画研究領域修了
版画家(シルクスクリーン)、女子美術大学非常勤講師



版画ワークショップ、刷りの様子

5 目 的

版画家 山口源の顕彰事業として、山口源賞の授与のほか、版画芸術の普及を目的として版画ワークショップを行っています。令和4年度は、高校2校(県立沼津西高校、暁秀高校)のほか、沼津港で今回と同じ短時間体験型、ららぽーと沼津で、1日体験型(公募)のワークショップを実施してきました。本ワークショップは、若い世代に実際に版画を体験していただくことで、版画芸術への理解と、山口源への興味を喚起することを目的としています。

お問い合わせ先

沼津市役所 教育委員会 文化振興課
直通:055-934-4812



山口源と山口源賞についてはこちらをご参照ください。

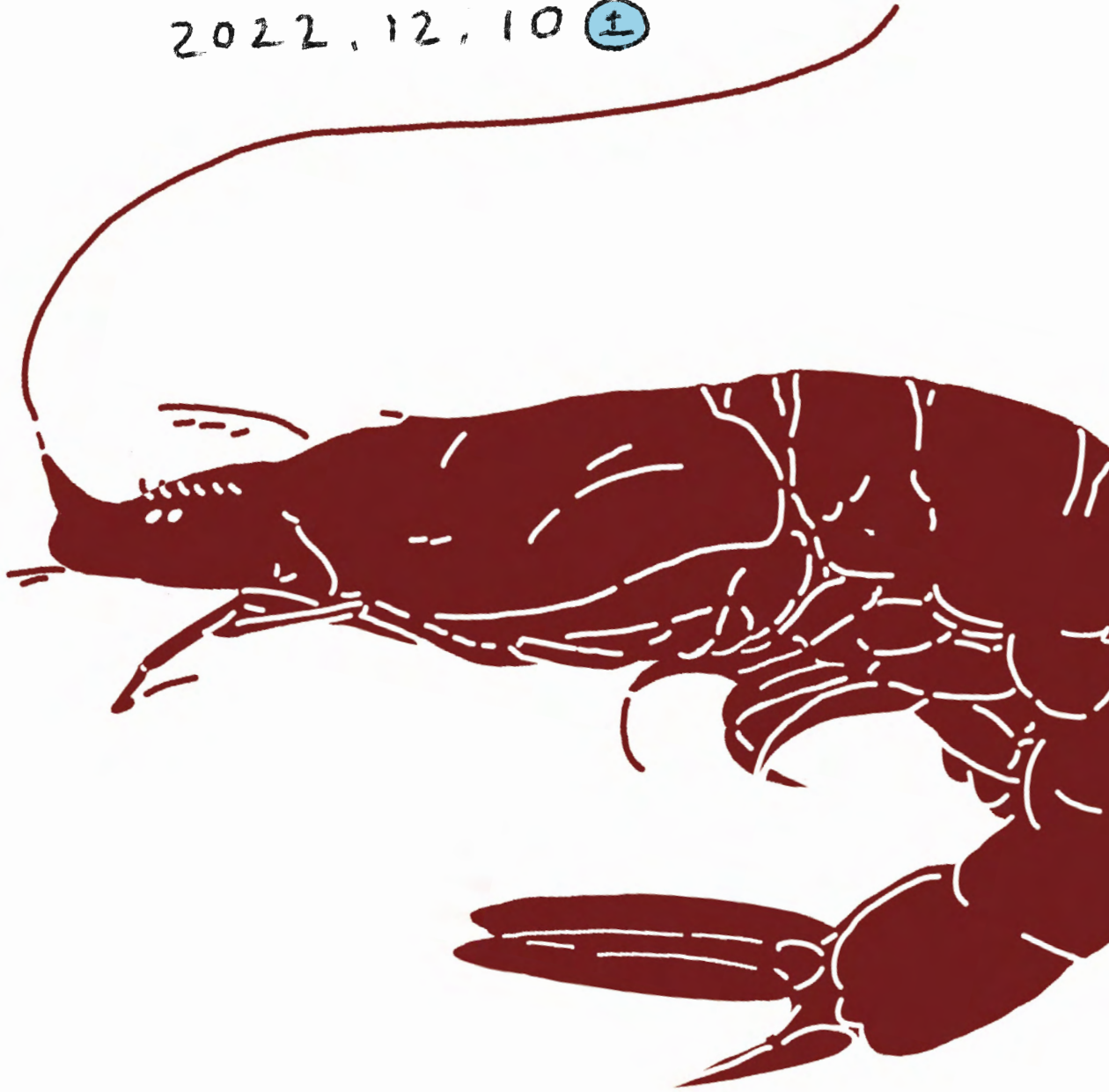


山形県 版画ワークショップ

ツルツルクリーン印刷

2022.12.10 (土)

ららぽーと沼津
1階 無印良品



参加費
無料

スケジュール

1回20分
定員3名

受付開始 10:30-(先着順)

- ① 11:00-
- ② 11:50-
- ③ 13:20-
- ④ 14:10-
- ⑤ 15:00-
- ⑥ 15:50-
- ⑦ 16:40-

参加対象・参加条件

どなたでも参加いただけます。

- ・1申し込み(単独・グループ)につき、持ち帰ることのできる作品は1つです。
- ・小さなお子さんは、保護者の方が付き添ってください。

【参加にあたってのお願い】

- ※マスク着用の上、ご来場ください。
- ※発熱・倦怠感などがある方は参加をお控えください。
- ※新型コロナウイルス感染防止対策を講じ行いますが、感染状況により急遽中止になる場合があります。
- ※制作風景を撮影し、公式SNS・YouTube・広報活動等に使用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ※制作で汚れる場合がありますので、気になる方はエプロン等をお持ちください。

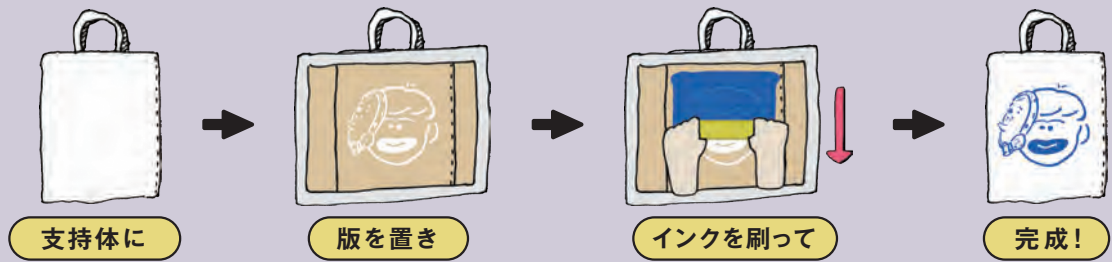
主催 沼津市教育委員会

お問合せ 沼津市教育委員会事務局 文化振興課 ☎055-934-4812

※QRコード:沼津市文化振興課 公式Facebook ~ぬまづの文化~



What's SILKSCREEN?



シルクスクリーンは孔版画技法の一種で《孔(あな)からインクを落とす》とてもシンプルな原理の版画です。版の材料として絹(シルク)*を使用していたことから”シルクスクリーン”という名称がつけました。

*現在ではナイロンやテトロンなどが使用されています。

1950年代後半頃、当時の大衆文化を題材として扱われた”ポップ・アート”という芸術運動が始まったことをきっかけに、シルクスクリーンが美術の分野でも普及することになりました。

「キャンベルのスープ缶」で有名な”アンディ・ウォーホル”はこの技法で多くの作品を制作しています。

今回のワークショップでは「シルクスクリーンでの印刷体験」を行うことができます。

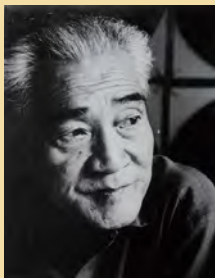
「本エビ」「あじの干物」などの版から好きなデザインを選んでトートバッグや紙に印刷してみましょう!



山口源頭彰事業とは?

沼津市で半生を過ごした版画家「山口源」の功績を広める目的で行う事業です。日本版画協会 版画展における「沼津市山口源新人賞」授与のほか、「山口源新人賞」受賞経験者を講師とし、版画初心者を対象に版画ワークショップを開催しています。様々な場所で、様々な版画技法を体験する機会を提供することで、版画の楽しさを実感してもらい、山口源への理解に繋がるよう取り組んでいます。

版画家「山口源」



本名は山口源吾(1896-1976)。

戦後、日本の抽象木版画の先駆者の一人として活躍。1944年に沼津市江浦に疎開し、以来亡くなるまで江浦で制作活動を続ける。1958年スウェーデンのストックホルムで開かれた「能役者」が日本人初のグランプリ受賞。沼津市民文化センター小ホール緞帳には、「能役者」の絵柄が使われている。装丁家としても活躍し、井上靖や松本清張などの作品の装丁を手掛けた。

講師紹介

中村 花絵 NAKAMURA Hanae

1990年 北海道網走郡生まれ。2015年 女子美術大学大学院美術研究科美術専攻修士課程版画研究領域修了。2015年「日本版画協会 第83回版画展」での山口源新人賞受賞をきっかけに2017年以降、山口源頭彰事業のシルクスクリーンワークショップ*で講師を担当している。現在 女子美術大学非常勤講師 / 日本版画協会会員 / 版画学会会員

*山口源頭彰事業シルクスクリーンワークショップは、2017-2018年 静岡県立沼津西高等学校、2019年 加藤学園 暁秀中学校・高等学校で開催されました。

山口源は2026年に没後50年を迎えます。

YouTube

シルクスクリーン プロセス紹介

<https://youtu.be/om1MmiOTMXw>

